

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 中東の歴史 | 中東の歴史 (2)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

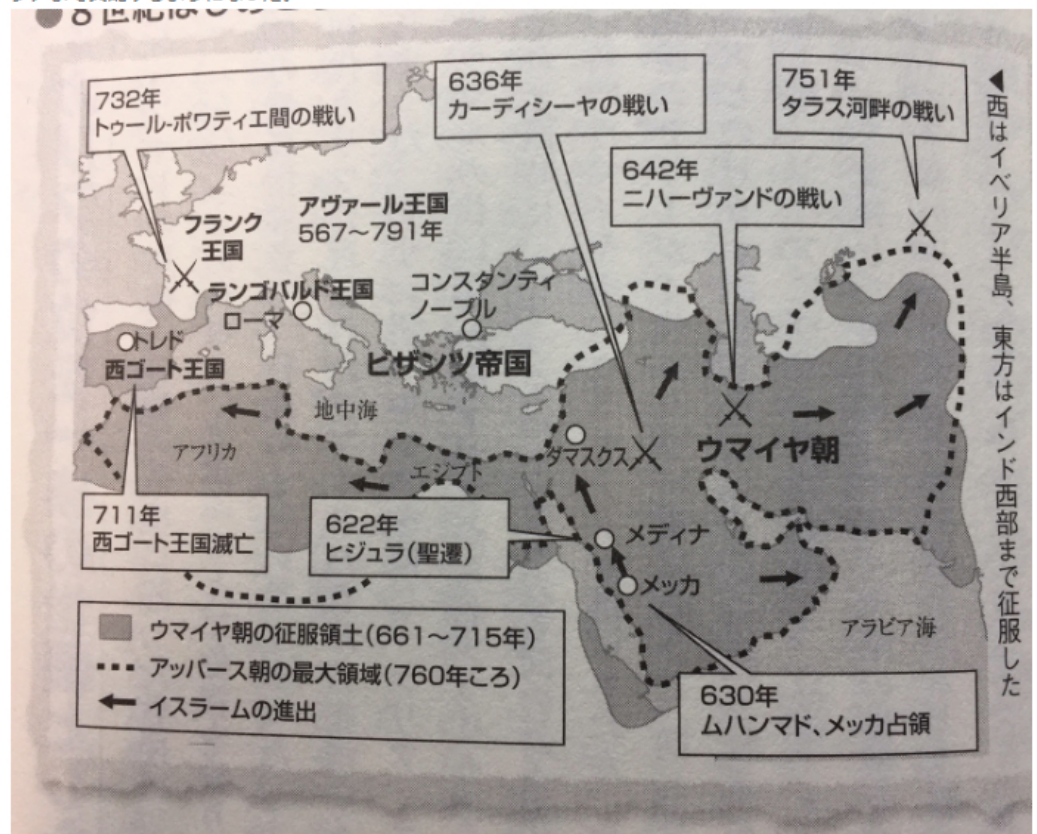
資本論

中東の歴史 (2)

古代から争いの絶えなかった中東の歴史。その多くは部族、民族間の争いであった。

オリエントのパレスチナ地方ではユダヤ教が信じられていた。キリスト教やイスラム教の原型であるユダヤ教は、奴隷として苦しい生活を強いられていたイスラエル民族の精神の支えとなっていた。紀元前のころ、ローマ帝国に支配されていたパレスチナにイエスが生まれキリスト教を興した。キリスト教は当初迫害を受けたが、4世紀になるとローマ帝国の国教となる。イエスが生まれた時代の覇者はローマ帝国であった。国教をユダヤ教からキリスト教に変えたローマ帝国は隆盛を極めたが、1600年ほど前、東西ローマに分裂し、その後もいくつかの国が独立するが、ローマ帝国崩壊後もキリスト教は全域に普及していった。

7世紀初めごろに、アラビア半島のメッカで生まれたムハンマドは、神の啓示を受けたとしてイスラム教を創始した。その教えはアラビア半島全体に普及し、征服活動に拡大した。7世紀半ばから8世紀末の100年余りの間に、イスラム帝国は、北アフリカ、イベリア半島、西アジア、中央アジアまで支配するようになった。



教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

地中海を制覇したローマ帝国も、最終的には東地中海の商業を基盤とするビザンツ帝国に戻り、急速に勢力を失っていく。

イスラム教は11世紀になるとさらに勢力を拡大し、キリスト教の聖地エルサレムを領土とした。

カトリック教会は聖地エルサレム奪回のためにヨーロッパ諸国にイスラム世界との闘いを呼びかけ十字軍を結成した。

こうして民族間の争いに加えて、宗教間の争いも加わり地域を複雑化させていく。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

📍 サイトマップ 📄 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.